

平成 30 年度

学生生活満足度・実態調査報告書

## 1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

## 2. 調査対象

平成 30 年 7 月時点で本学に在籍する全学生を対象とする。

## 3. 調査日時

平成 30 年 7 月 25 日から 8 月 2 日

## 4. 調査方法

QR コードを配布し、iPad から記名式で回答する。学生に調査目的と趣旨を説明し、学生に自由意思で調査を行う。

## 5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6 項目、「Ⅱ.屋内施設」15 項目、「Ⅲ.屋外施設」3 項目、「Ⅳ.大学生活全般について」5 項目の満足度に関する質問事項を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活について」の満足度調査を行った。以降は実態調査として、「Ⅵ.通学形態と経済状況」3 項、「Ⅶ. 修学の状況」では学修時間や学習内容について 5 項目、「Ⅷ. 課外活動」ではアルバイトやボランティアについて 5 項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」2 項目の調査を行った。また各設問と調査用紙の最後に回答者の具体的な意見等を受けるための自由記入欄を設けた。

## 6. 調査数

本調査の集計分析対象とした学生総数は 321 名である。うち協力の得られた学生数は 290 名であった（回収率：92%）。

（学年別の回収率）

学年	回答数	回収率
1 年生(79 名)	74 名	94%
2 年生(81 名)	69 名	85%
3 年生(75 名)	69 名	92%
4 年生(86 名)	78 名	91%

（男女別の構成比）

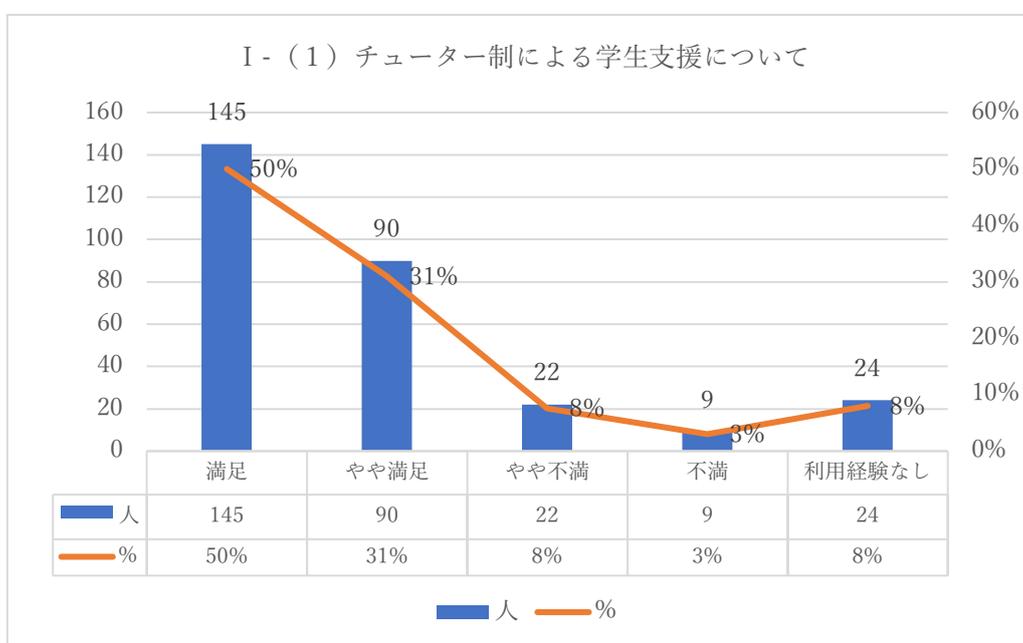
性別	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合計	構成比
男性	12 名	13 名	17 名	17 名	59 名	20%
女性	62 名	56 名	52 名	61 名	231 名	80%

## I. 学生支援について

### (1) チューター制による学生支援について

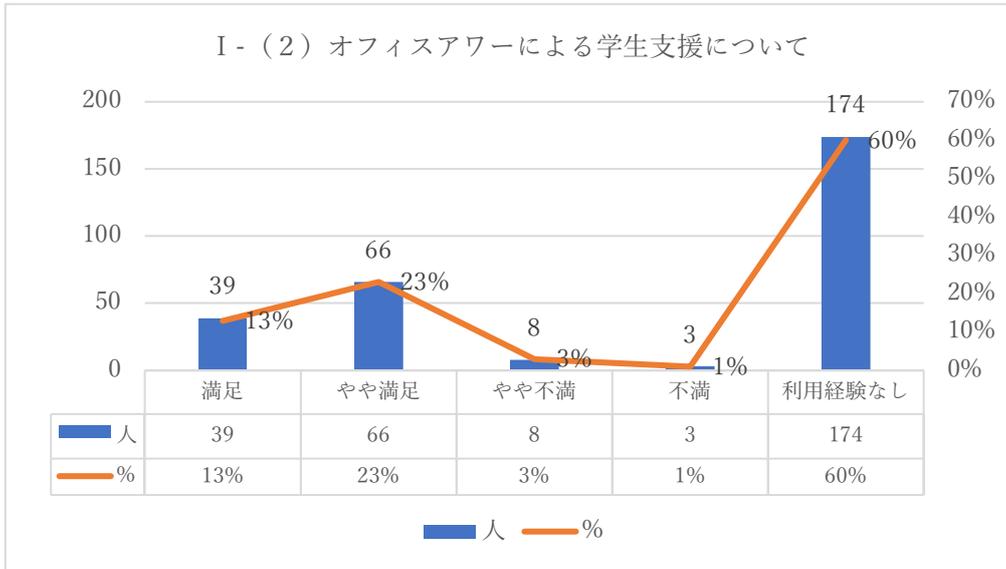
回答者のうち、チューター制度による学生支援に対する満足度は「満足」と「やや満足」を合わせた割合が81%程度、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が11%であった。チューター制度に対して8割近くの学生が概ね満足しており、前回調査（平成29年度実施）の「満足」27%と比べ今回は50%に増加していた。

しかし、自由記載では「学生対応がチューターによって差がある」という学生が複数名いた。また、「チューターを知らない・利用したことがない」「チューターが親身になって話を聞いてくれない」「チューター制は必要がない」という学生もいた。全教員がチューターとしての役割を再認識して学生と向き合う必要がある。



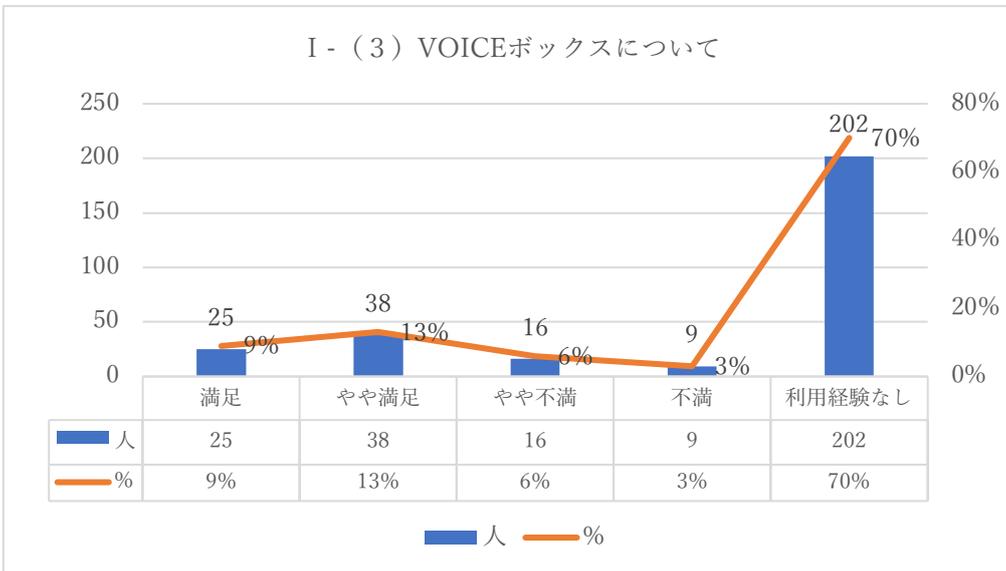
### (2) オフィスアワーによる学生支援について

「満足」「やや満足」を合わせた学生の割合は36%で、昨年の40%と比べて満足している割合が減少しているが、「不満」「やや不満」を合わせた学生の割合は4%で、昨年の同様に減少している。また、「利用経験なし」を回答した学生が60%おり、昨年以上に増えた結果となった。



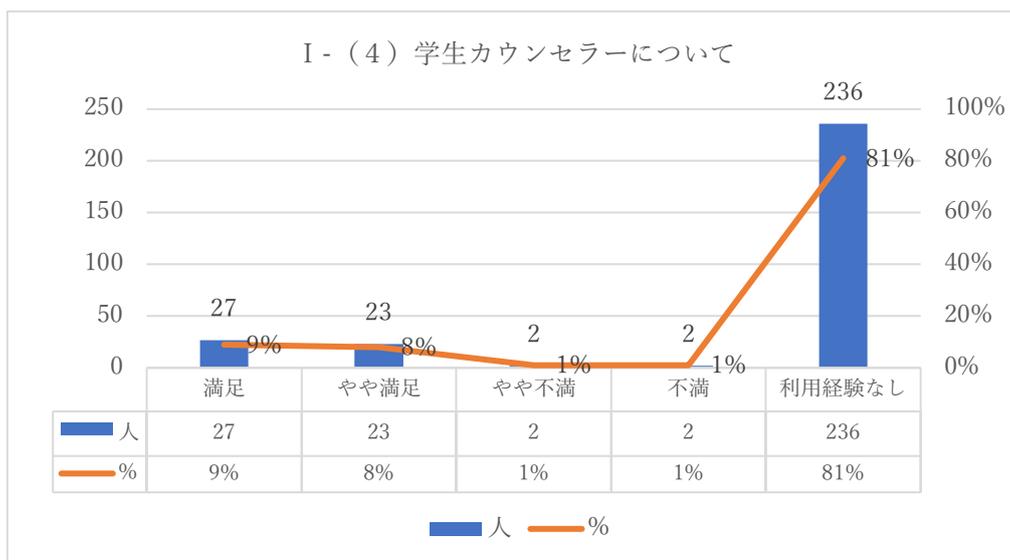
(3) VOICE ボックスについて

VOICE ボックス利用経験なしの学生の割合が前年調査の 53%に比べて今年は 70%と増加しており、利用者数は減少傾向である。また、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の 29%から今回は 16%と満足度は減少傾向にある。



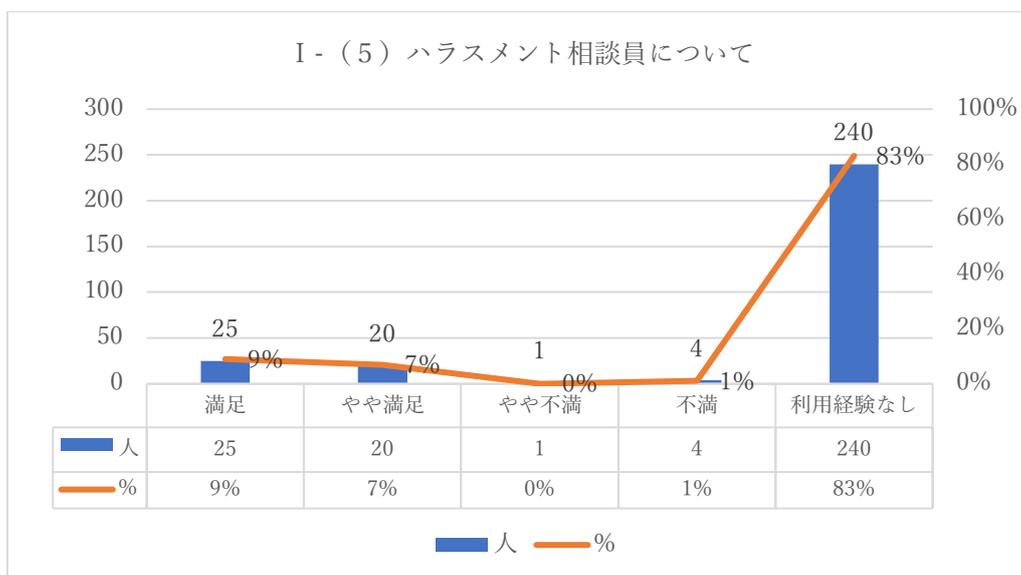
(4) 学生カウンセラーについて

学生カウンセラー利用経験なしの学生が前回調査の 65%に比べて今回は 81%と大幅に増加しており、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の 26%から今回は 17%と減少している。利用率は減少しているが「やや不満」「不満」は昨年度の 10%よりも 2%と減っていることから利用者は満足していると考える。



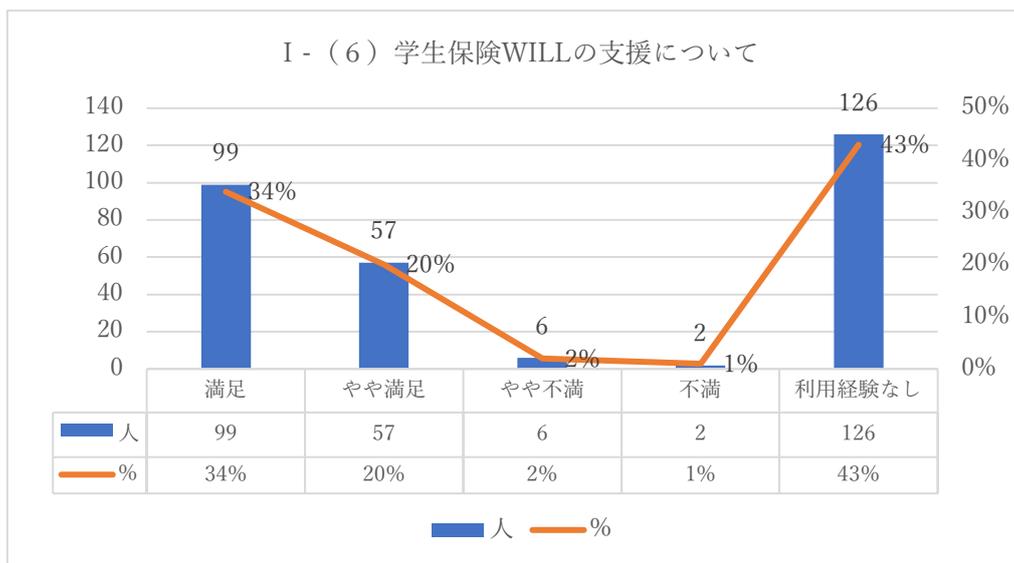
(5) ハラスメント相談員について

ハラスメント相談利用経験なしの学生が前回調査の 63%から今回は 83%と増加しており、「満足」「やや満足」を合わせた割合が、前回調査の 29%から今回は 16%に減少している。利用者は減少する中でも満足度の割合は変わらない。



(6) 学生保険 WILL の支援について

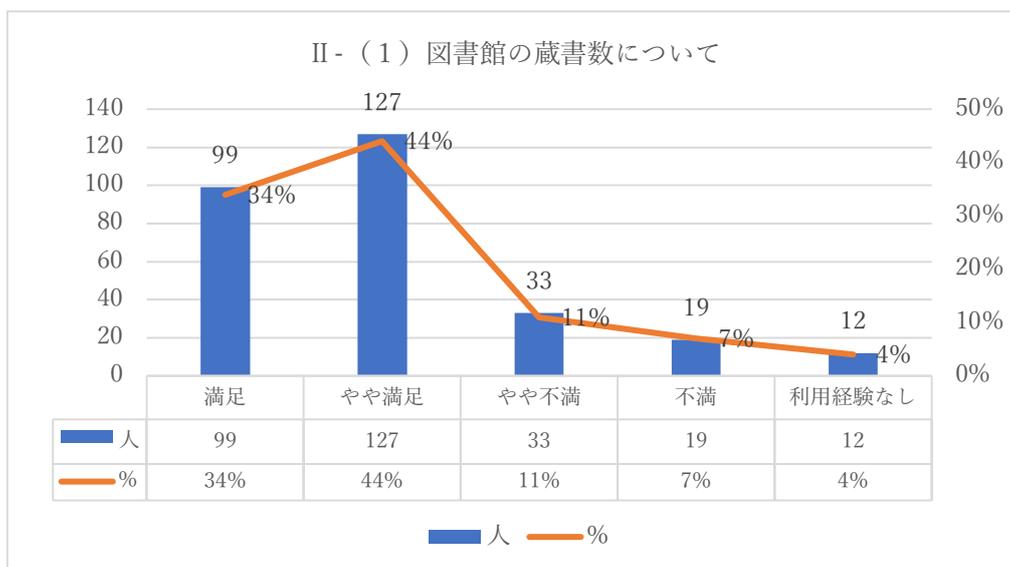
学生保険 WILL 利用経験なしの学生が昨年の 29%から今年は 43%と増加しており、「満足」「やや満足」を合わせた割合が昨年の 65%から今年は 54%とやや減少している。半数近くが利用経験のないことは、良いことであるが全学年対象とした結果でもありと考える。



II. 屋内施設について

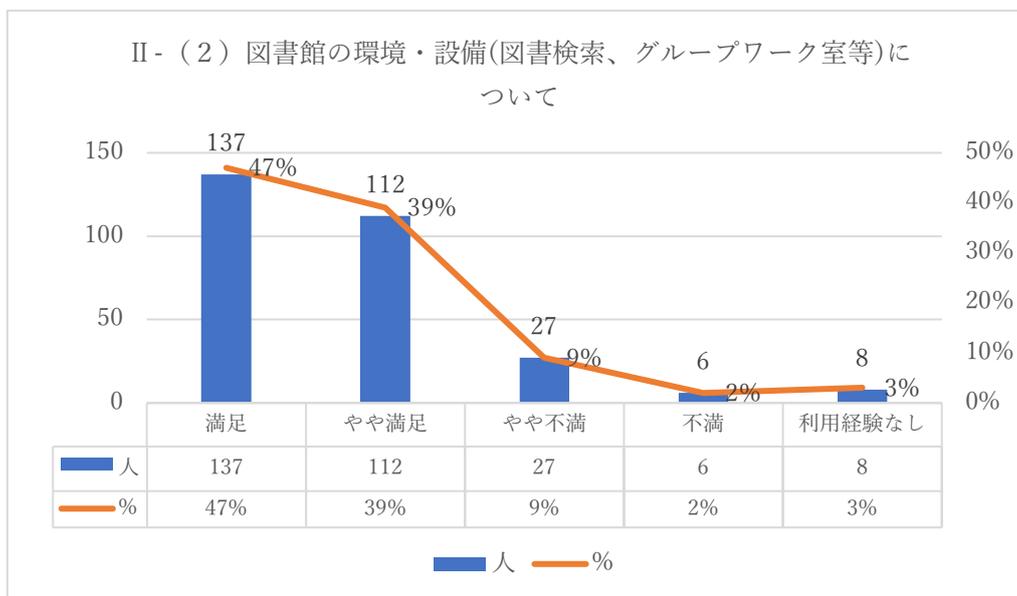
(1) 図書館の蔵書数について

図書館の蔵書数に対する満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は 78%であり前回調査とほぼ同様であった。「やや不満」「不満」と回答した学生は 18%であった。図書全般及び、医療に関する蔵書をして欲しいという意見が多くあった。

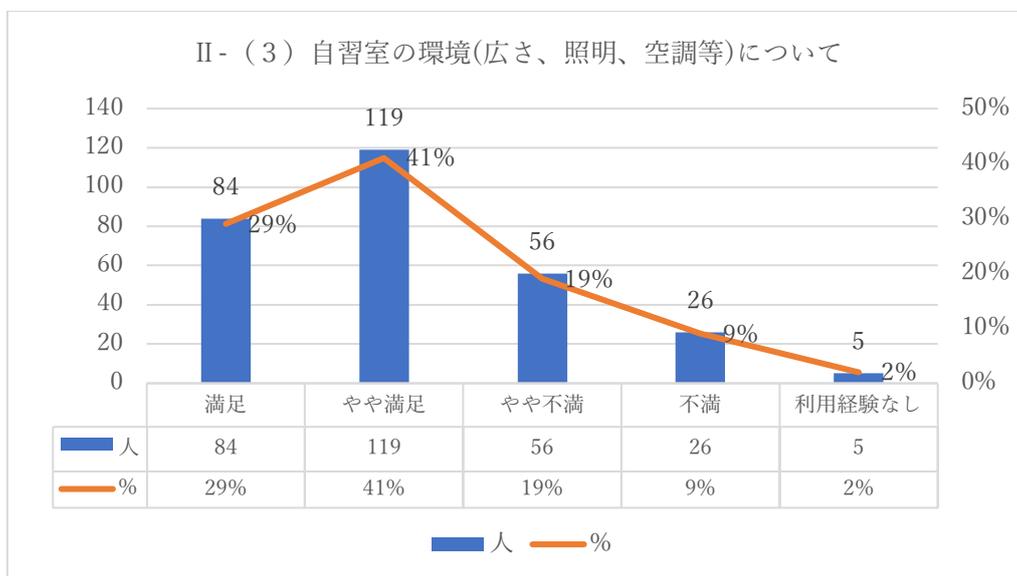


(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)について

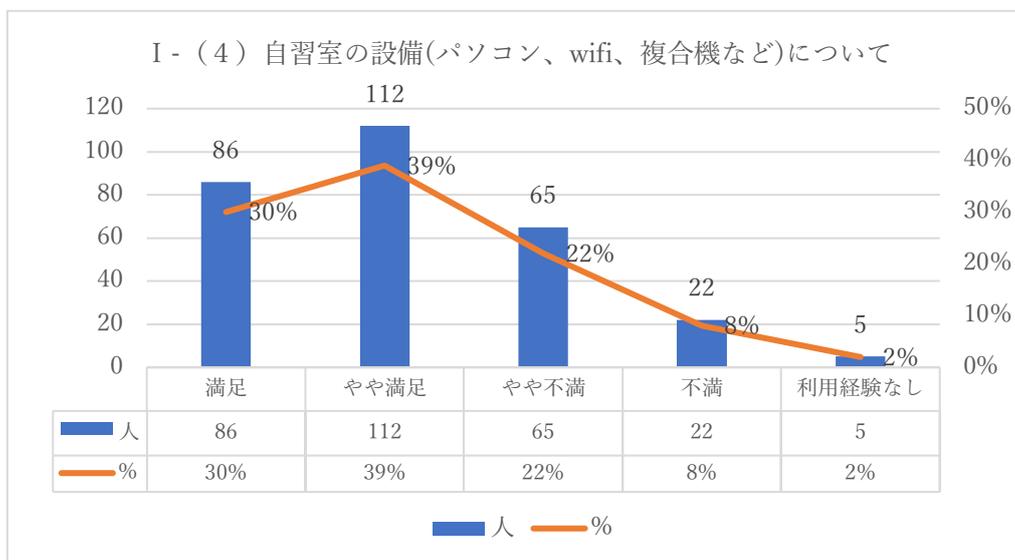
前回調査は「満足」「やや満足」88%であったが、今回も88%と高い同様の割合の結果であった。



(3) 自習室の環境(広さ、照明、空調等)について



(4) 自習室の設備（パソコン、wifi、複合機等）について



II - (3) (4) 自習室について

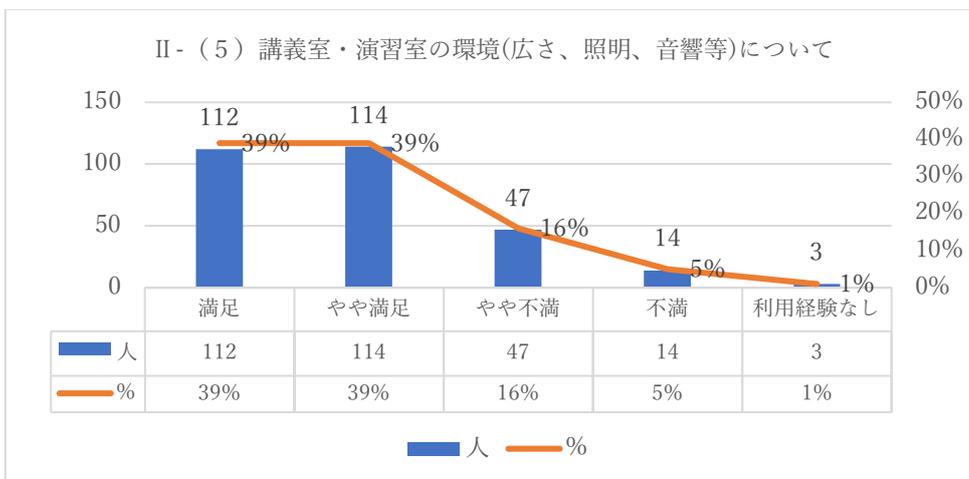
自習室の環境（広さ、照明、空調など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が前回調査では84%であったが、今回調査では70%と満足度が減少していた。

設備（パソコン、Wi-Fi、複合機など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が69%で、前回調査の66%とほぼ同様の結果であった。不満の原因として、パソコンが少ない、使いづらい、機種が古い、印刷と繋がらないなどが19件あった。他パソコンに関しての問題が11件挙げられていた。また、自習室が狭い、寒い、うるさいなどの意見が20件以上挙げられており、環境に関わる問題は昨年よりも多く挙げられた。

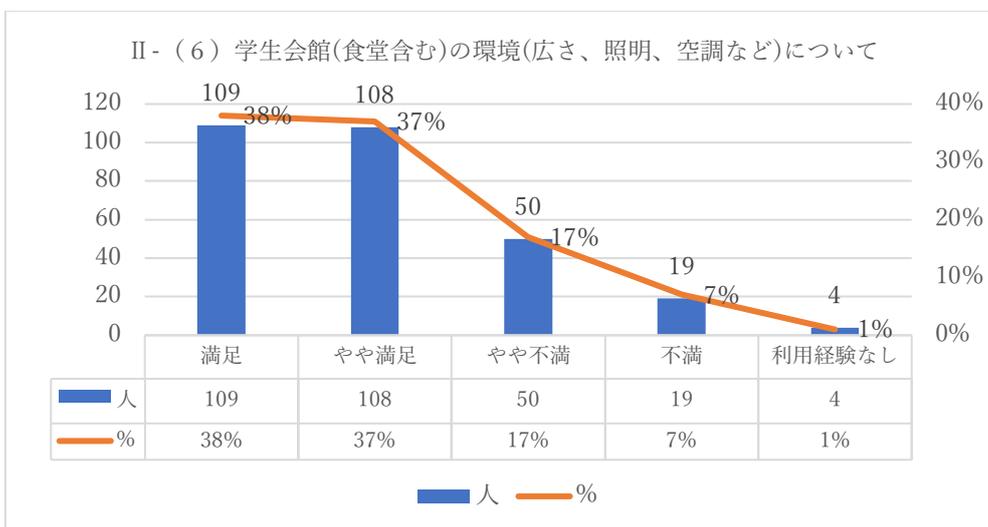
(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）について

今年度は講義室と演習室を一緒にした環境（広さ、照明、音響など）についての設問とした。満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は78%であり前回調査とほぼ同様の結果であった。前々回調査時から開放時間を延長してほしいとの要望があったため、時間の延長を行ってきたが、なお時間の延長を求める声が多かったため、満足度の低下に繋がっている状況が懸念される。また、休日の演習室の開館を求める意見も多かった。

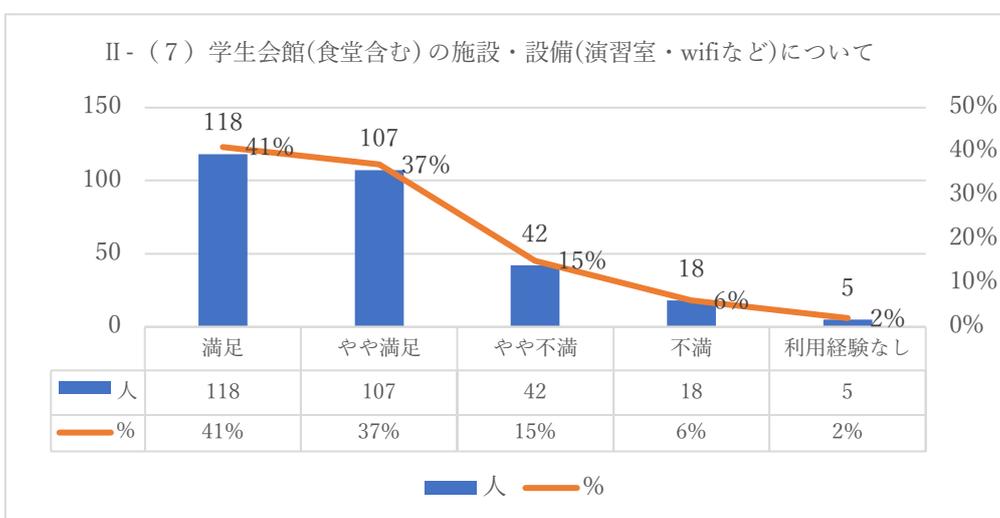
自由記載においては前回調査と同様に「講義室の後ろの方はホワイトボードが見にくい」といった意見があり、今年度より電子黒板が導入されたので、解決に向けた取り組みを進めていく。



(6) 学生会館(食堂含む)の環境(広さ、照明、空調等)について



(7) 学生会館(食堂含む)の施設・設備(演習室・Wi-Fi等)について



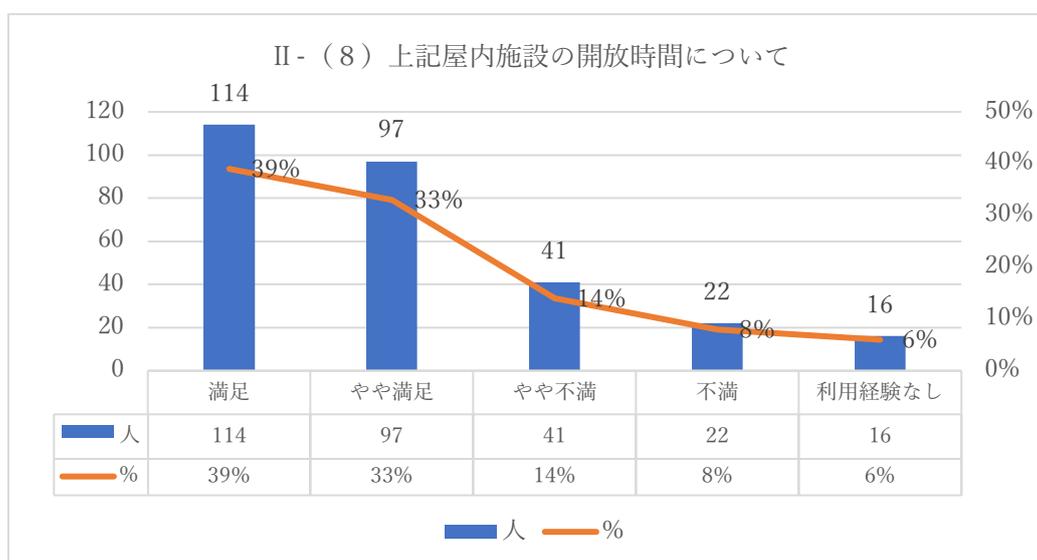
## II- (6) (7) 学生会館について

学生会館の環境・施設についての70~80%程度の学生が「満足」「やや満足」と回答しており、前回調査と同様の傾向にあった。また前回調査と同様に自由記載において食堂の広さに対する不満は見受けられるものの、学生会館の環境に対する満足度は77%から75%とほぼ同様であった。座席数は増席されたものの、自由記載では、「食事の時間に座席が足りない等の意見が13件あった。

学生会館の設備(wifi, 複合機など)についての満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は78%であり前回調査の75%よりやや向上している結果であった。学生会館は全館フリーwifiを導入しており、学生のニーズに応じているが、「接続が弱い」「繋がりにくい」等の意見も散見している。よって全館でより快適に利用できるよう接続を強化していく必要がある。

## II- (8) 上記屋内施設の開放時間について

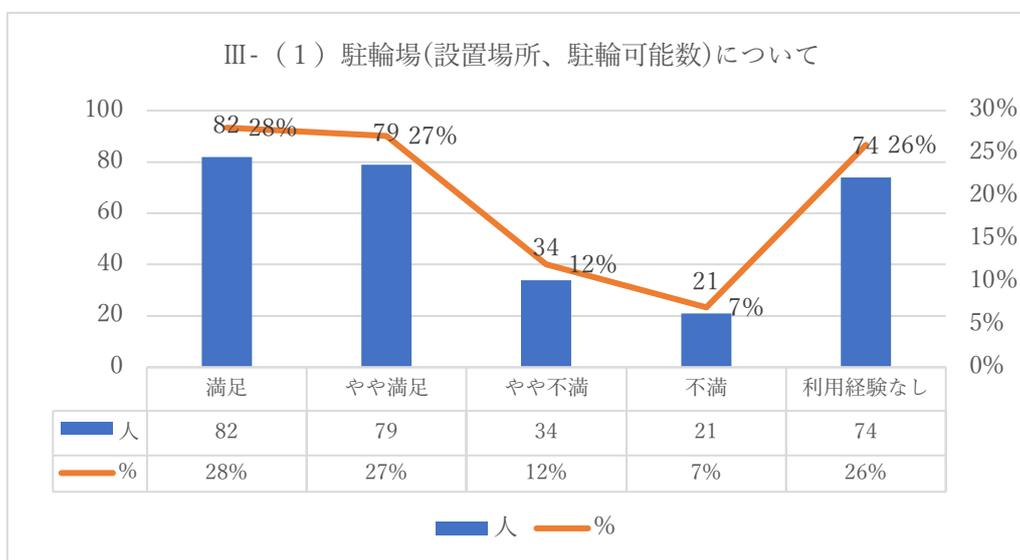
今年度は図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて開放時間の設問とした。満足度は「満足」「やや満足」は72%であり、昨年度の個別評価の平均値より減少している。自由記載には利用延長を求める意見が多かった。



### Ⅲ. 屋外施設について

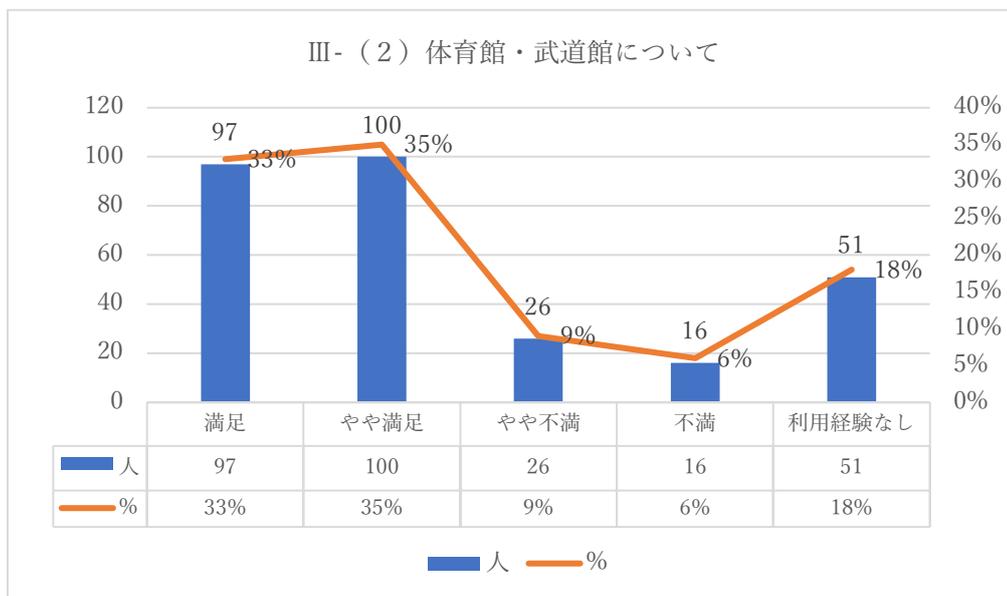
#### (1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）について

駐輪場について、前回調査では「満足」「やや満足」と回答している者が62%。「不満」「やや不満」回答している者が24%。利用したことがないと回答している者が13%。これと比較して今回調査では「満足」「やや満足」と回答している者が56%。「不満」「やや不満」回答している者が19%。利用したことがないと回答している者が26%であった。利用者の中で、約半数以上の者から満足している意見がみられた。しかし、前回調査に比べ、自転車を利用している者が減少している。また、自由記載では、屋根の設置、設置場所が奥で遠い、夜間の点灯、数が少ないなどの意見が多くあった。



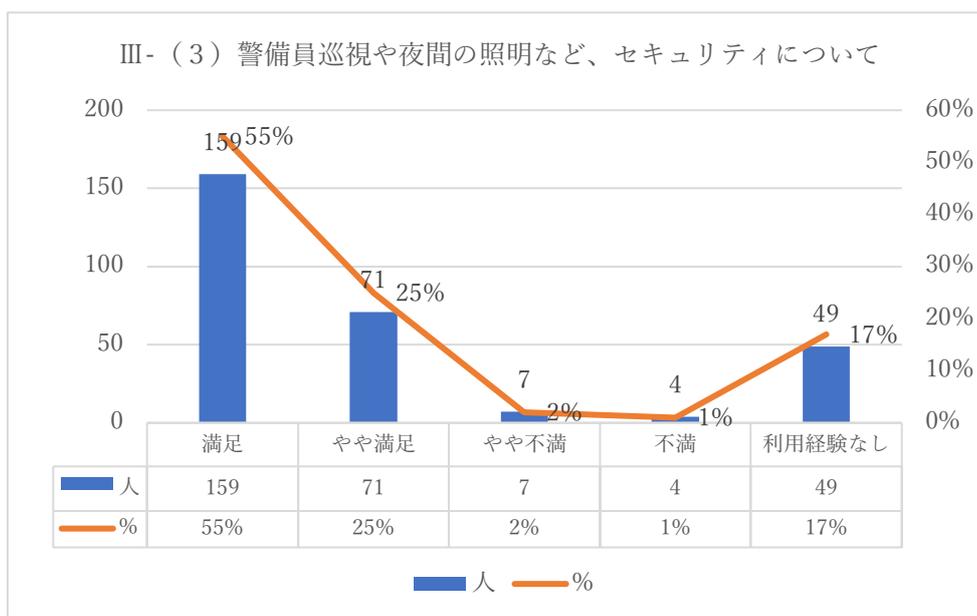
#### (2) 体育館・武道館について

体育館・武道館について、前回調査では「満足」「やや満足」と回答している者75%。「不満」「やや不満」回答している者が11%。利用したことがないと回答している者が15%。これと比較して今回調査では「満足」「やや満足」と回答している者が68%。「不満」「やや不満」回答している者が15%。利用したことがないと回答している者が18%であった。満足度が減少し、不満が増加している。この背景には全学年を対象にしたことが考えられる。自由記載では、環境設備についての意見（暑い、エアコン設置、雨漏りの修繕等）が16件あった。自治会が巡視し、衛生面・整備面について呼びかけ、その必要性を理解することで意識が向上し、清潔感が得られ使いやすくなっていることが考えられる。効果的に活用できる施設づくりをすることが今後の課題と考える。



(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティについて

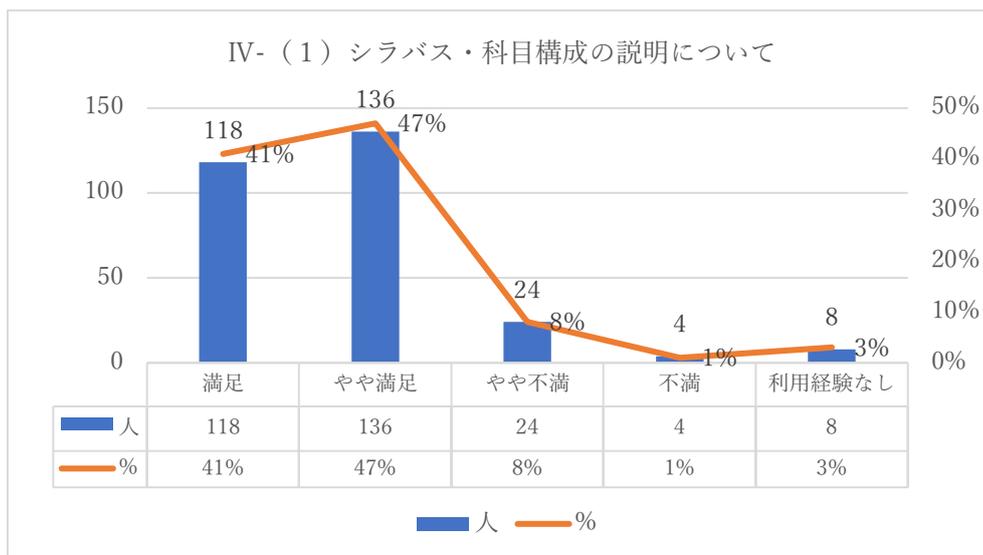
本学のセキュリティについて、前回調査では「満足」「やや満足」と回答している者 85%。「不満」「やや不満」回答している者が 7%。これと比較して今回調査では「満足」「やや満足」と回答している者が 80%。「不満」「やや不満」回答している者が 3%であった。利用したことがないと回答している者が 17%であった。満足度が低下しており、また、利用したことがない学生も上昇している。その要因を分析し安全が守られ、安心した生活が提供することが今後の課題になると考える。



#### IV. 大学生活全般について

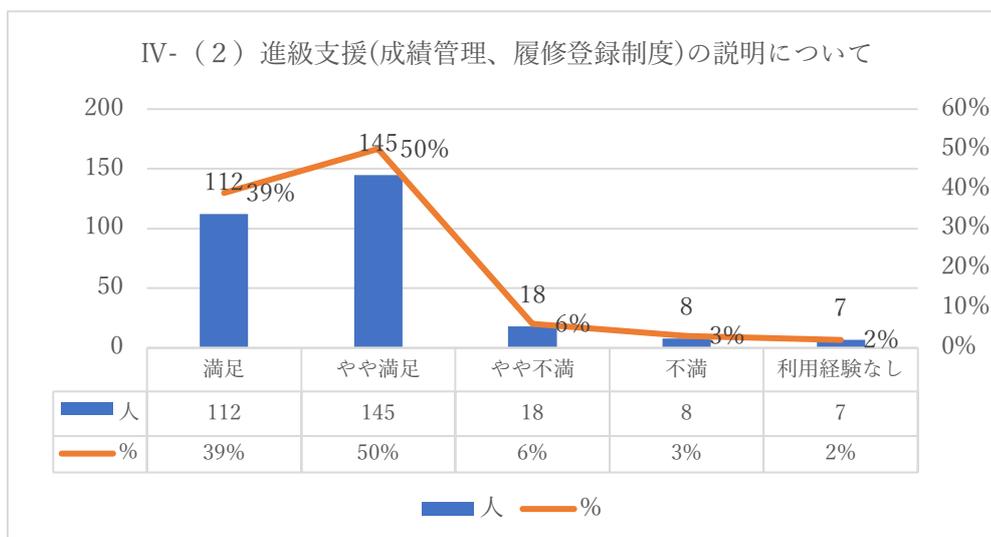
##### (1) シラバス・項目構成の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は88%で昨年とほぼ同様の結果であった。「やや不満」「不満」と回答した学生は9%となり、昨年度より2ポイント減少しており、概ね満足度は高いと言える。



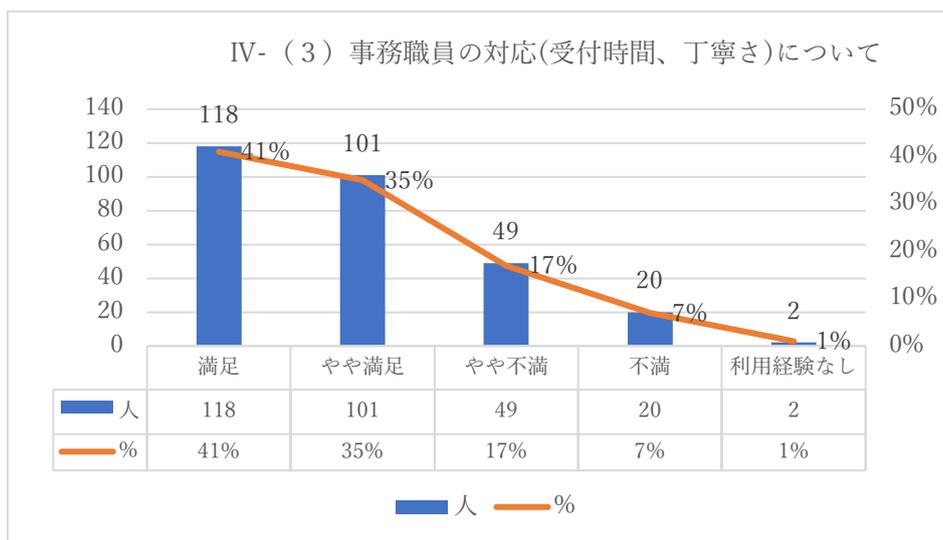
##### (2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は89%であり、昨年の83%と比較し、満足度は増加している。「やや不満」「不満」と回答した学生は昨年度の14%から、今年度は9%と減少しており概ね満足していることが明らかになった。



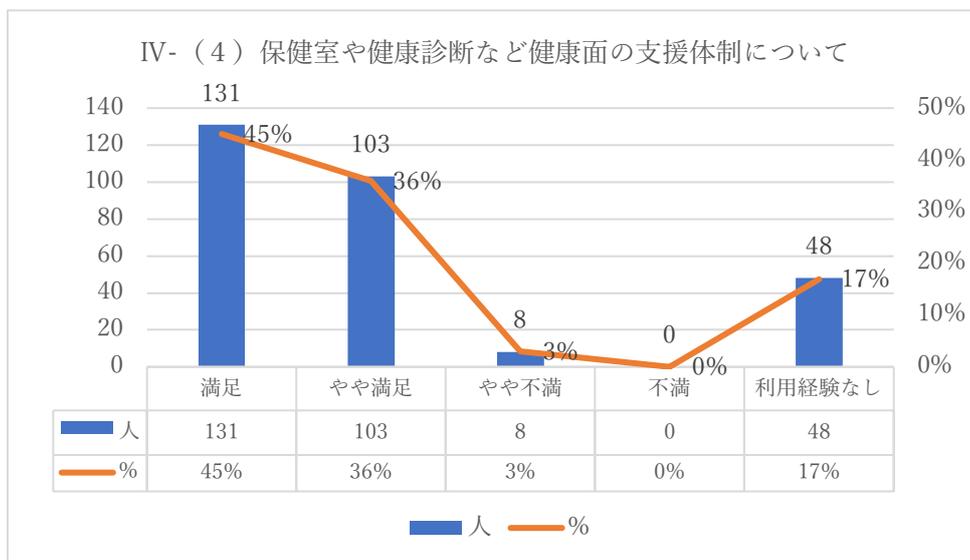
(3) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)について

「満足」「やや満足」と回答した学生は76%に達しており、概ね満足度は高いと言える。しかし、「やや不満」「不満」と回答した学生は24%昨年度より3ポイント増加している。最も多かった意見は、事務対応可能時間の延長について、次いで職員の接遇に関する意見であった。



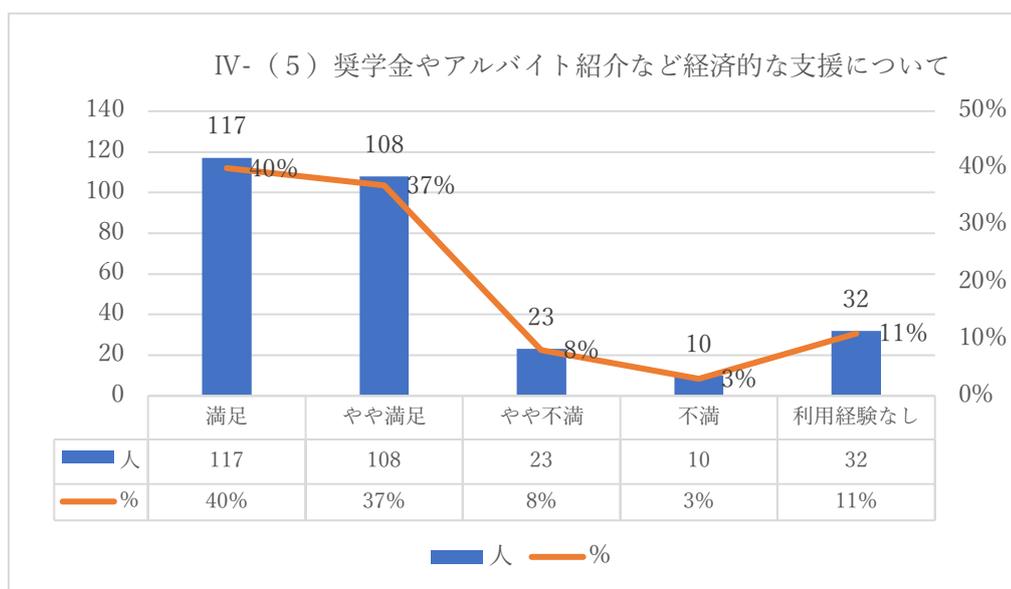
(4) 保健室や健康診断など健康面の支援体制について

「満足」「やや満足」と回答した学生は81%に達しており、昨年度より満足と回答した学生は10ポイントも増加していた。また、「やや不満」と答えた学生は3%と昨年度より10ポイント減少、「不満」と回答した学生は0%であった。このことから満足度は高いと言える。



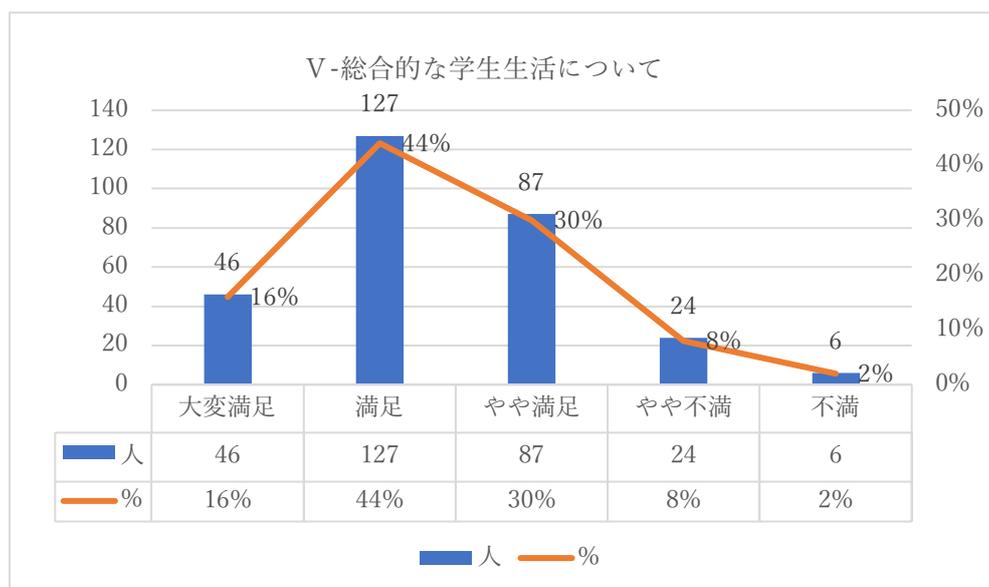
(5) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援について

「満足」「やや満足」と回答した学生は77%に達しており、昨年度より満足と回答した学生は8ポイントも増加していた。また、「やや不満」と答えた学生は11%と昨年度より5ポイント減少しているが、実数としては増加している。自由記載には、特待制度が一年しかない・奨学金制度をもう少し増やしてほしい等があった。



V. 総合的な学生生活に対する満足度について

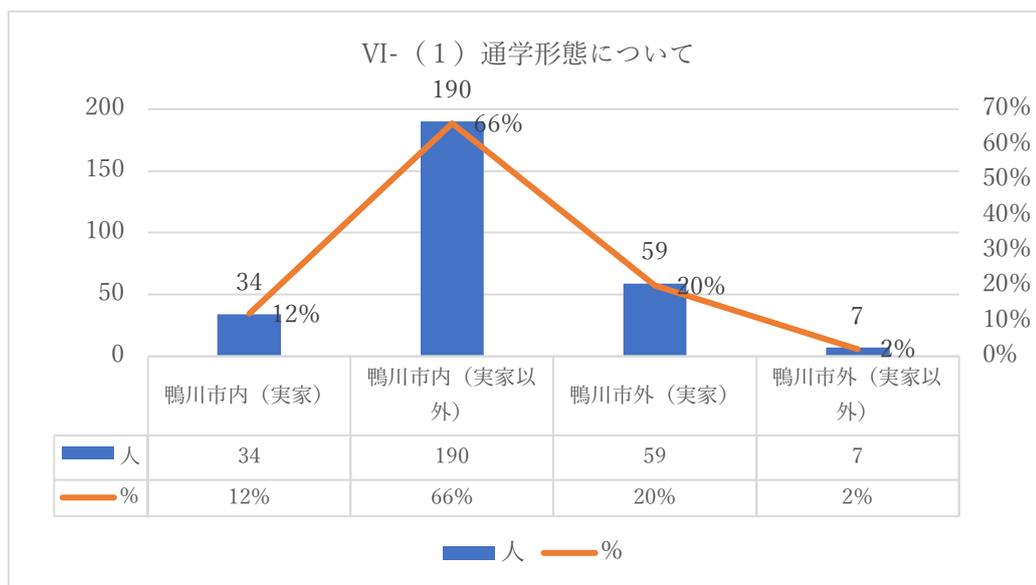
大変満足からやや満足まで含めると90%の学生が概ね大学生生活に満足していることが明らかになった。



## VI. 通学に関する実態について

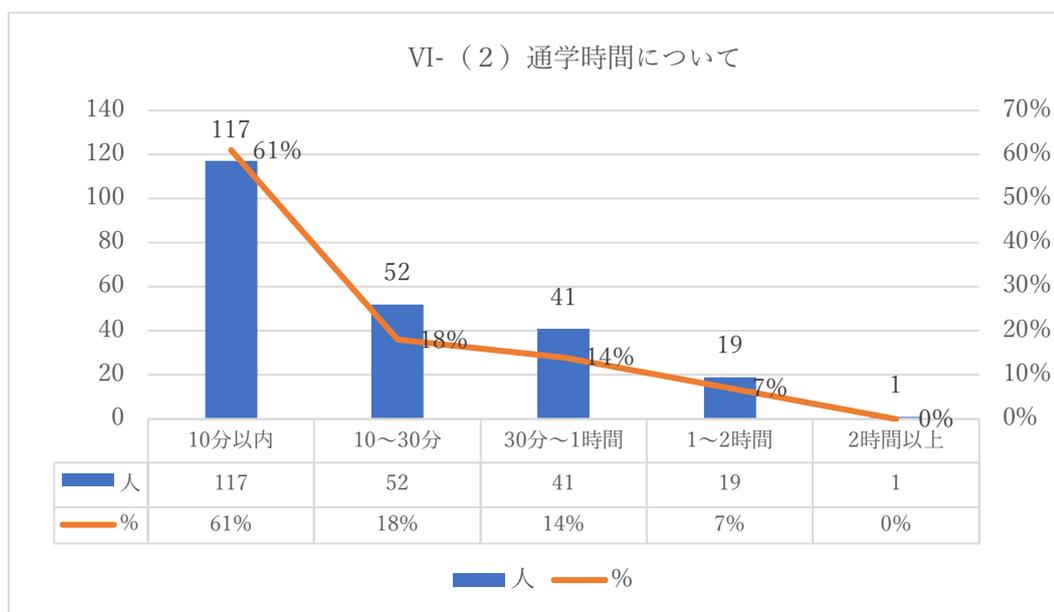
### (1) 通学形態について

市内の自宅から通学している学生は12%と前回調査より8ポイント減少している。一方、一人暮らしの学生は66%と全体の78%の学生が鴨川市内に居住していた。市外に居住している学生は22%であり、前回調査の19%と同様の傾向を示した。



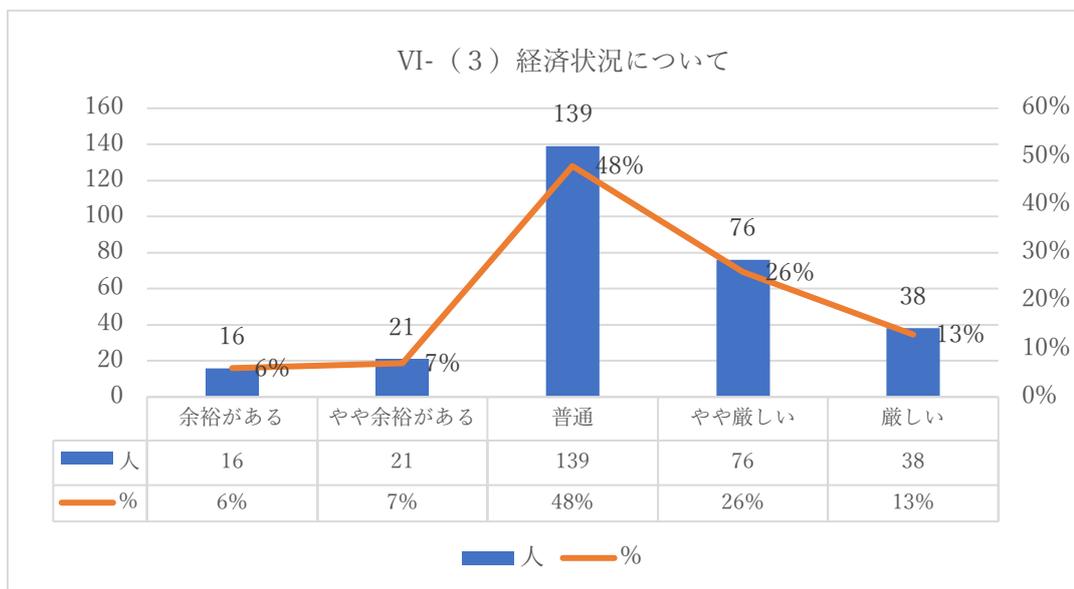
### (2) 通学時間について

通学時間が30分以内の学生は79%であり、前回調査と同様の結果であった。



(3) 経済状況について

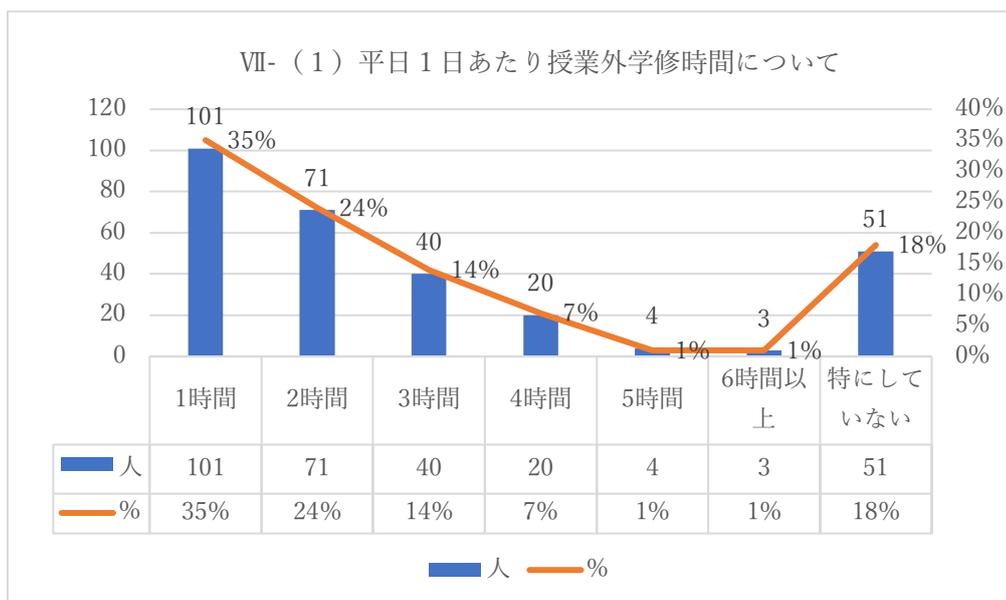
経済状況について普通と回答した学生が 48%と最も多く前回調査より 5 ポイント増加、次いで、やや厳しい 26%、厳しい 13%であった。前回調査時は厳しい・やや厳しいと回答した学生は 46%であり、7 ポイント減少していた。



VII. 修学の状況の実態

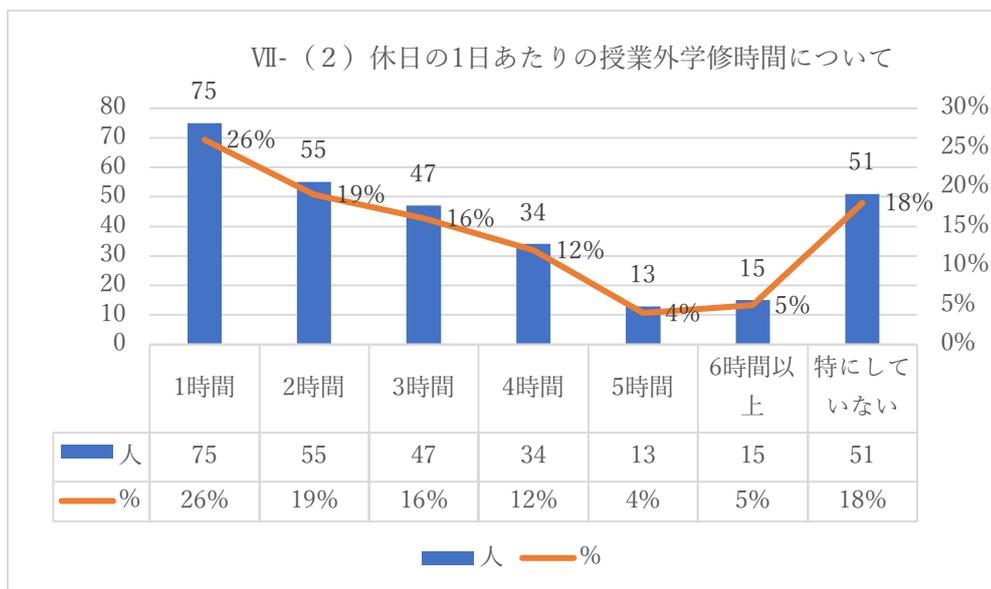
(1) 平日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの課外学修時間の多い順に1時間 35%、2時間 24%、特にしていない 18%、3時間 14%、4時間以上 9%であった。



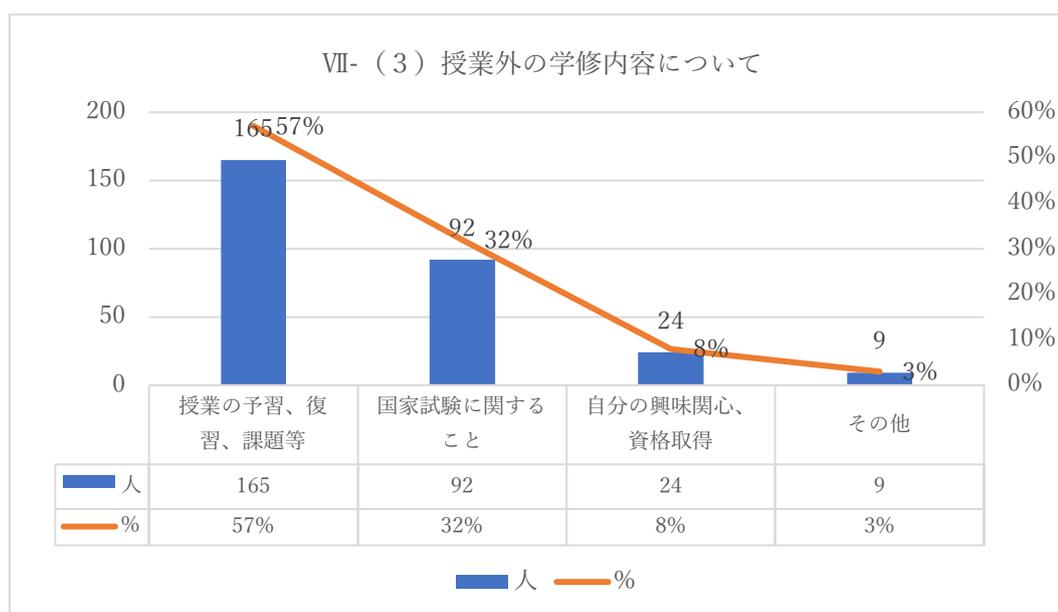
(2) 休日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの休日課外学修時間の多い順に1時間26%、2時間19%、特にしていない18%、3時間16%、4時間以上21%であった。

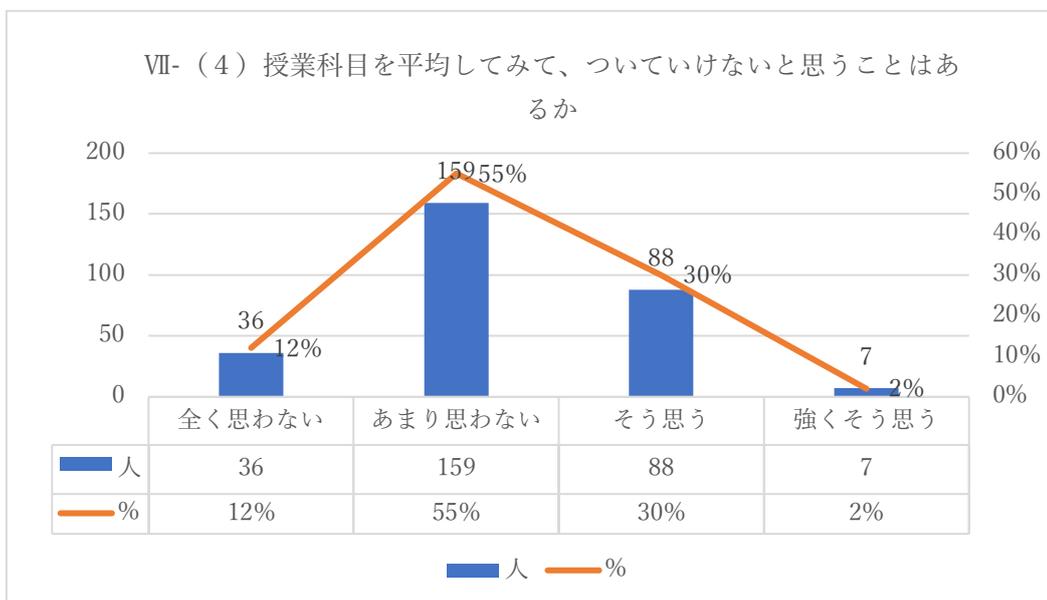


(3) 授業外の学修内容について

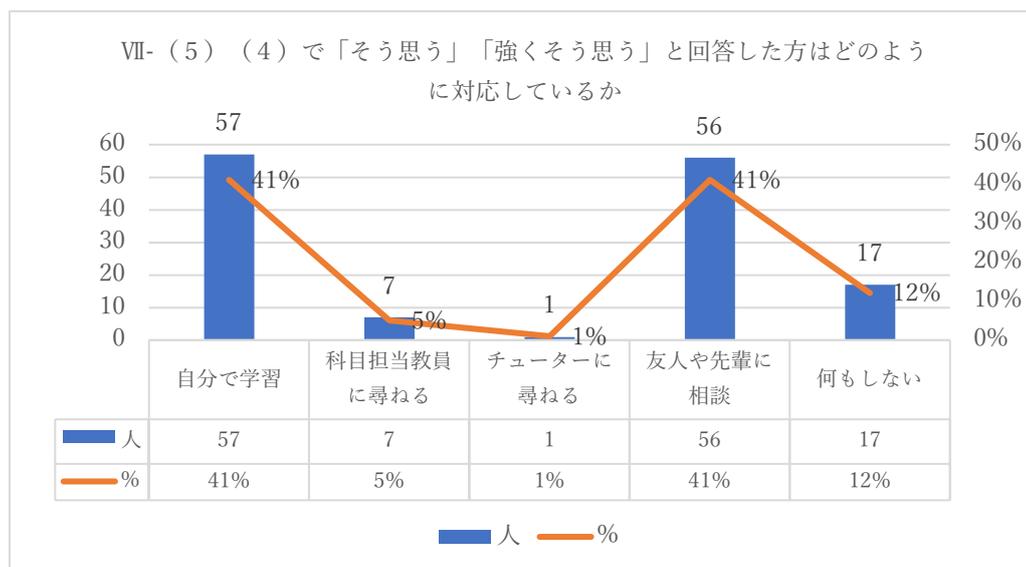
授業外学修の内容で最も多いものは授業に関する事（予習、復習、課題）の57%であった。国家試験に関する事32%、自分の興味関心・資格取得に関する事8%との回答があった。



(4) 授業科目を平均してみたて、授業についていけないと思うことはあるか



(5) (4) で「そう思う」「強くそう思う」と回答した方はどのように対応しているか

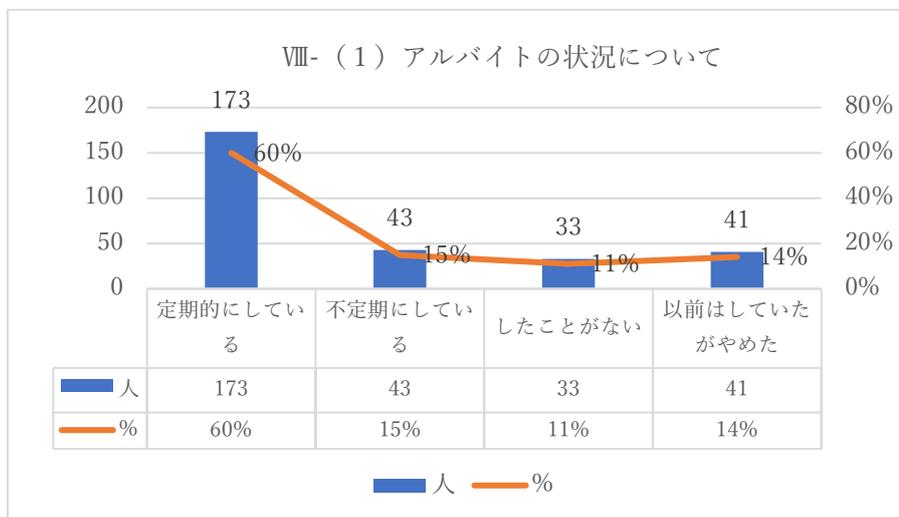


VII- (4) (5)

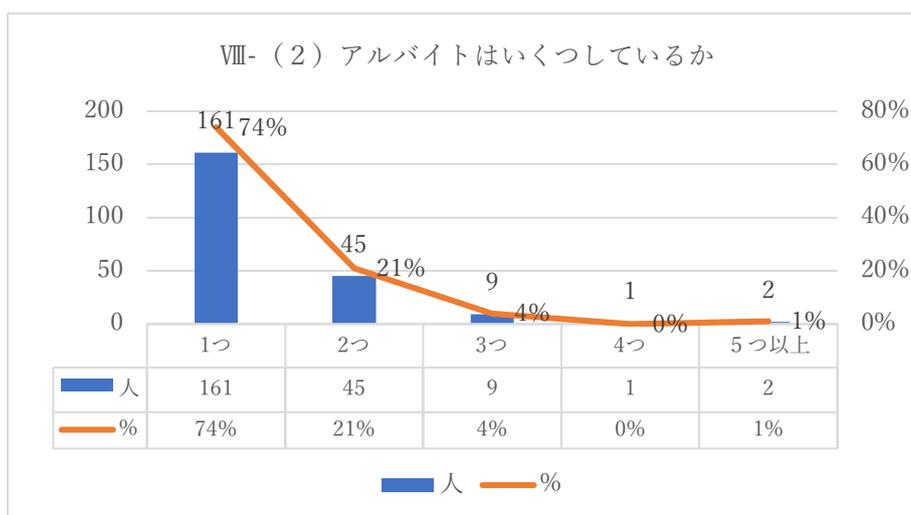
授業についていけないかどうかについて、全く思わない12%、あまり思わない55%と講義内容は67%の学生は理解できていた。しかし、30%の学生がそう思う、2%の学生が強くそう思うと回答していた。また、授業についていけないときの対応は自分で学習する41%、友人や先輩に尋ねる41%と多く、講義担当教員やチューターに尋ねている学生は全体の6%であった。

## VIII. 課外活動に関する実態

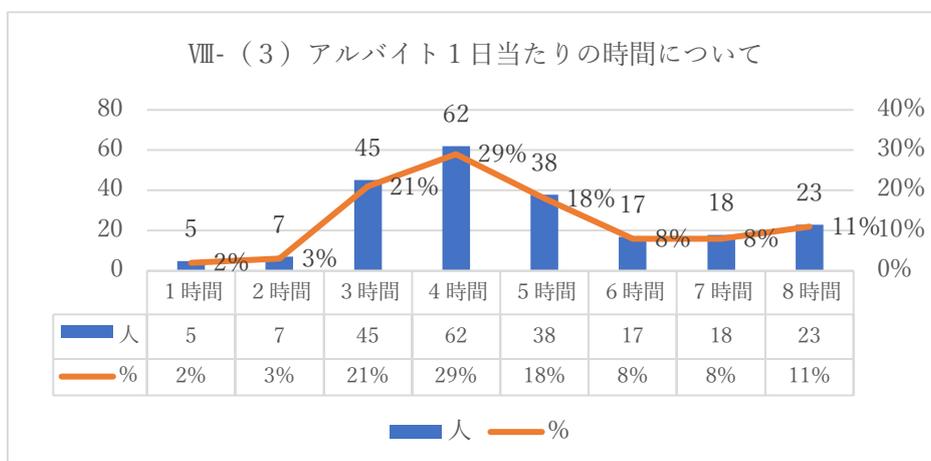
### (1) アルバイトの状況について



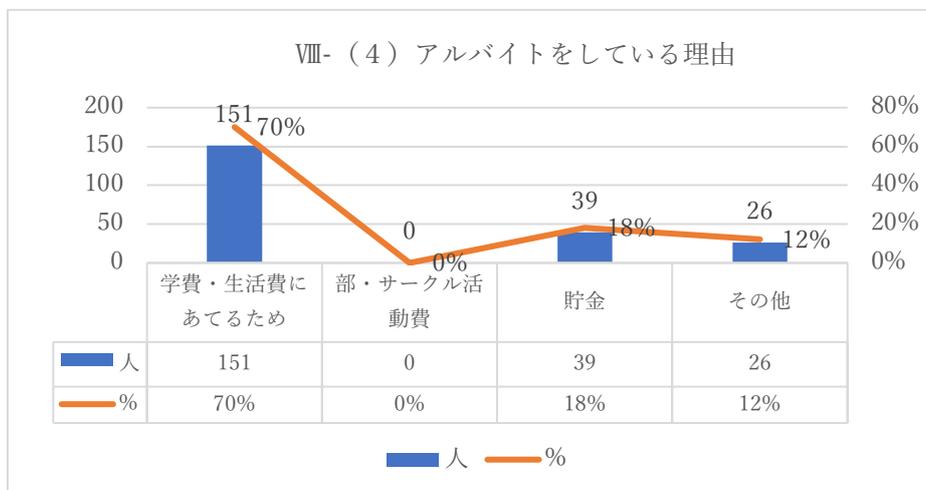
### (2) アルバイトはいくつしているか



### (3) アルバイト1日当たりの時間は何時間か



(4) アルバイトをしている理由



VIII - (1) ~ (4) アルバイトについて

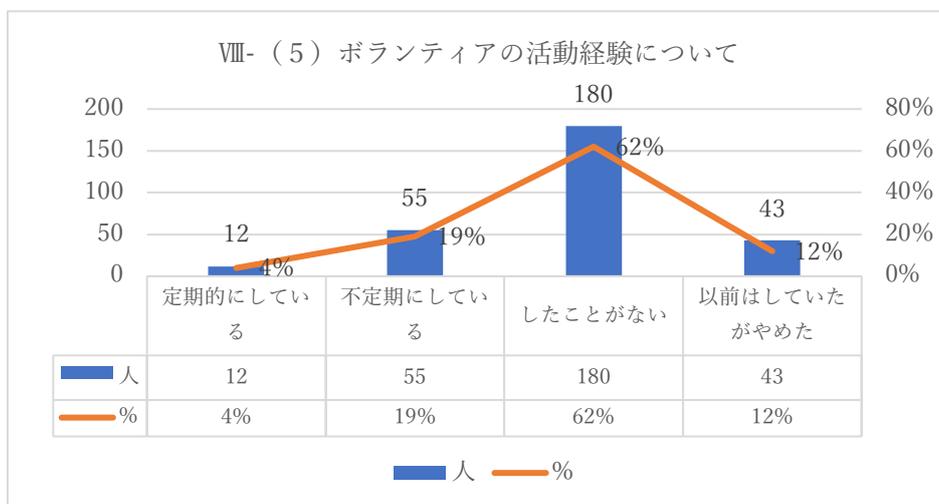
アルバイトを定期的、不定期にしている学生の割合は 75%で、ほとんどの学生はアルバイト経験があった。アルバイトの数は 1 つが 74%、2 つが 21%、3 つ以上が 5%であった。

1 日当たりのアルバイト時間は多い順に 4 時間 29%、3 時間 21%、5 時間 18%、2 時間以内 5%、6 時間以上 27%であった。

アルバイトをしている主な理由は学費や生活費に充てるための 70%、次いで貯金が 18%、その他としてお小遣いや海外研修に当てるためであった。

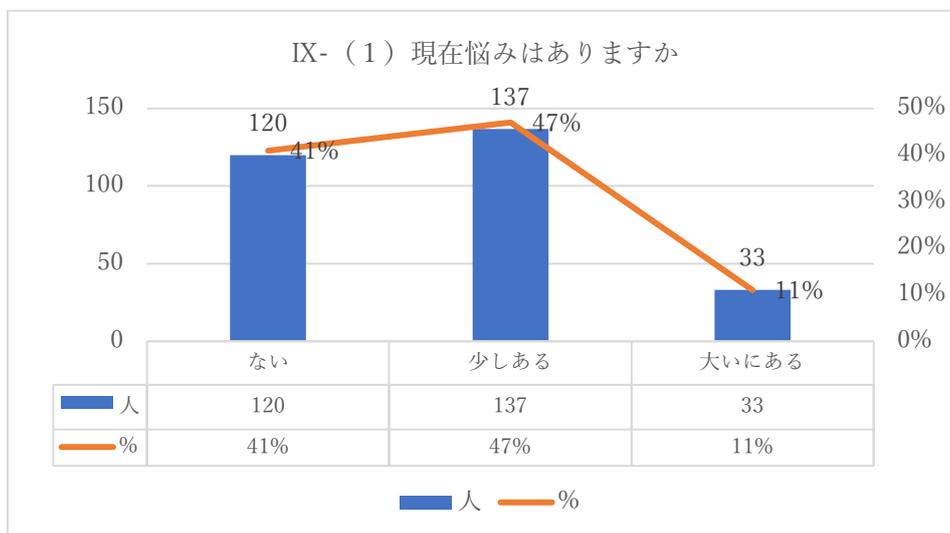
(5) ボランティアの活動経験について

ボランティアの経験について行った事がない学生が 62%、不定期に行っている学生が 19%、定期的に行っている学生が 4%、以前は行っていたが現在は行っていない学生が 12%であった。

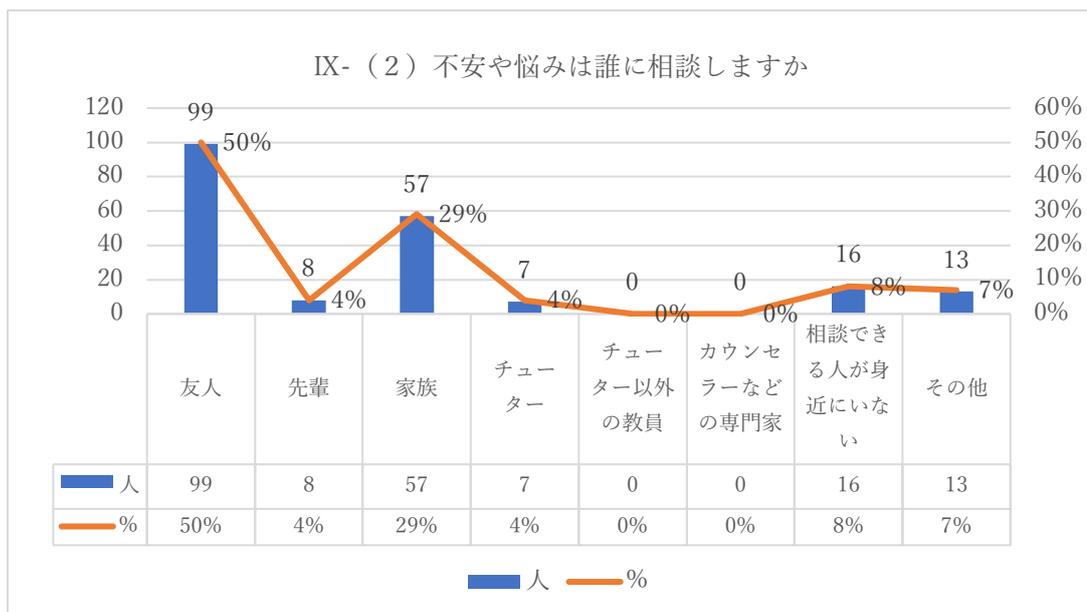


## IX. 学生生活の悩みについて

### (1) 現在、悩みはありますか



### (2) 不安や悩みがある時、主に誰に相談しますか



### IX- (1) (2) 学生生活の悩み

悩みについて、少しあるが47%と前回調査と同様の結果であった。大いにあるは11%で、10ポイント減少していた。悩みを相談する相手は、友人50%、家族29%、先輩4%、相談できる人が身近にいない8%であった。チューターは4%、チューター以外の教員は0%と悩みがあっても教員に相談している様子は無かった。またカウンセラーなどの専門家に相談していると回答した学生はいなかった。

## 【自由記載の分析結果】

学習支援については28件の自由記載があり、主な内容は「チューターによって対応に差がある」「チューターによって面談があるところとないところがあり不満である」「プライベートな部分への過干渉がある」などチューター制に関してであった。チューター制については、これまで学生委員会でも取り上げ、チューターの役割やチューターを支援する学年主任の周知など、対応を図ってきた。それにも関わらず依然、チューター制に関する意見があることは、限られた教員のチューター制に対する意識に原因があると考えられるため、今後の課題としていく必要がある。

施設の室内環境については121件と多くの自由記載があった。最も多い意見としては、自習室のパソコンについての不具合や使いづらさが挙げられた。その他、休日の演習室の開館を求める意見や自習室・演習室の開放時間の延長を求める意見が多かった。前々回調査でも開放時間の延長を求める意見が多く、時間を22時までに変更したものの、依然として要望が多い。大学の管理的な問題があることからそれ以上の延長は難しいため、そのことについて学生に理解を促す必要がある。

また、学生会館に関する自由記載では、食事の時間に食堂の座席数が足りていない・食堂が狭いという意見が最も多かった。

施設の室外環境については50件の自由記載があり、体育館への冷暖房の設置、駐輪場の拡大（原付バイク）を求める意見があった。

大学生活全般については43件の自由記載があり、最も多い意見として、事務室の開館の延長を求める意見がみられたが、大学の管理的な問題があるため、延長はできない。

その他、教員へ学生に対する教育的配慮を求める意見や、学生へ学習態度の改善を求める意見があり、教員は授業評価を受けて各自の教育について振り返り、また学生の学びの姿勢について改善していけるよう取り組んでいく必要がある。